

家園

字体作者：周 慧琚

第 20 号



特定非営利活動法人
中国帰国者・日中友好の会
〒110-0016 東京都台東区台東 3-35-7
ペガサスミシンビル1階
TEL：03-3835-9357 FAX：03-3835-9358



「チャイナフェスティバル 2017」にて

目 次

★ 活動写真	2
★ 裁判提訴の頃	3
★ 「チャイナフェスティバル 2017」出演を終えて.....	4
★ 「チャイナフェスティバル 2017」に出店記.....	5
★ 人間賛歌	6
★ 歴史を明記し、新たな頁を開く.....	7
★ 本会活動記録・お知らせ・編集後記	8

活動記録写真



9/7 早稲田大学大隈講堂にて「国連合唱団」日本公演参加



10/23 哈爾濱社会科学院一行 8 人来訪



10/8.9 浅草かっぱ橋道具街まつり



10/21.22 「チャイナフェスティバル」餃子工房出店



11/19 “残留孤児口述歴史”二・三世座談会



12/23 赤羽会館「孤児の涙」出演者

裁判提訴の頃／裁判訴訟的背景

弁護士 安原幸彦

2001年5月11日、ハンセン病訴訟の1審判決が熊本地裁で言い渡されました。国の政策は憲法違反だとして、その誤りを厳しく糾弾する国完敗の判決でした。世論の強い後押しで、国は控訴を断念し、国のハンセン病政策は大きく転換されました。残留孤児の皆さんは、それを目の当たりにして、自分たちも国の政策の誤りを追求する裁判を起こし、それを梃子に、国の政策を転換させることを目指したのです。ハンセン病訴訟弁護団の一員だった私は、小野寺利孝弁護士から、その経験を残留孤児訴訟でも活かして欲しいと要請され、弁護団の一員となりました。

残留孤児訴訟の準備は、2002年から始まり、提訴に向けて残留孤児の皆さんに説明会を開きました。会場には300人近くの孤児の方が集まっていました。一通りの説明を終えて、会場から質問を求めたところ、最初に手を挙げた方が「国を相手に裁判を起こした場合、国からどんな報復がされると覚悟しておけばいいのでしょうか。」と質問されました。これは予想もしていない質問でした。私は、憲法に定められた裁判を受ける権利から説明しましたが、質問された方は必ずしも納得されていませんでした。残留孤児の皆さんが、どういう覚悟で裁判を起こそうとしているのかを思い知り、身の引き締まる思いをしたのを覚えています。

2003年の提訴行動の時には、参加者全員が日の丸の鉢巻きを締めて東京地裁までデモ行進しました。国を訴える裁判はたくさんありますが、こんな提訴行動は残留孤児裁判以外ありません。これも予想を超えていました。「私たちは日本人だ」という叫びが込められていたと思います。

こうした経験を一つ一つ積み重ねて、私たちは残留孤児の皆さんの思いや願いを受け止めることができるようになったと思います。これを大切にしてこれからも皆さんと歩んでいきたいと思っています。

2001年5月11日、熊本县地方裁判所对麻风病的诉讼裁判给予了初次的审判。

结果说明国家政策是违反宪法的、对此错误的严重纠结最后使国家惨败。再加上世间舆论的谴责，国家便放弃上诉权，由此，使国家对麻风病政策有了巨大的转变。

于是，大家以此为证、并意识到残留孤儿的遭遇也是由国家政策的错误所造成的，便以此为追究的靶子提起诉讼，来促使国家改变对孤儿的政策为最终目标而奋起。

因为，当时我是麻风病诉讼律师团的成员之一，所以小野寺利孝律师建议利用麻风病裁判的经验为残留孤儿进行诉讼，因此，我被要求参加到残留孤儿诉讼辩护团了。

残留孤儿诉讼的准备工作，开始于2002年，在提诉前，首先向大家开了说明会。当天有300多人参加了说明会。会上、首先做了一系列说明，之后，有人提出疑问，第一个举手提问的说[跟国家告状，以后会不会遭到国家的报复，首先要做好思想准备吧。]这个问题是我预想不到的。我已经说明了宪法上规定，国民是有权利上访告状的。可是提问题的这位原告还是有些不安。可想而知，当时大家是以什么样的心情告状国家了，我也抖擞起精神来，当时的情景至今还记忆犹新。

2003年提起公诉时，参加者全体成员的头上都扎上印有太阳国旗的带子，长龙似的队伍朝着东京地方裁判所开始了游行示威。

诉讼状告国家的裁判曾经有过很多，像残留孤儿这样的提诉行动还是前所未有的。这也是预想之外。

一路上口号连绵声【我们本来就是日本人】从他们的呼喊声中我意识到了这点。

就是在这种积累了一个又一个的经验中、我们渐渐地懂得并接受了残留孤儿们的想法和愿望。

我希望今后也能够在珍惜这一切的基础上，和大家共步前进。（翻译：佐藤麗子）

[illegible]

编辑语：时光荏苒，" 残留孤儿国赔诉讼 "，已经过去 15 年。那场深刻经历中我们第一次在人权问题上和国家较量，如果没有辩护团先生们全力支持帮助，不可能取得新支援政策的实施。直到现在，辩护团先生们仍然无私奉献给予指导和关注。为此，我们感谢感恩，不忘初心，继续努力！

「チャイナフェスティバル 2017」出演を終えて 参加“2017 年中国节”盛会演出纪实

宮崎慶文

为纪念中日恢复邦交 45 周年，由中国驻日大使馆主办的（10 月 21 日～22 日）为期两天的中国节盛会在东京代代木公园隆重举行。我会有幸被邀参加演出。因参加团体比较多，我们申请参演的 8 个节目，经实行委员会审查，批准和指定了 3 个节目出演：日本手舞《黒石よされ節》，器乐演奏《山丹丹开花红艳艳》合唱《茉莉花》《大海啊，故乡》。

参加演出前，三个节目都在抓紧时间练习，特别是日本手舞的排练很辛苦！她们星期天都不休息，练得汗流浹背，有的得了感冒，咳嗽不止，但练习不停。演出服需要加工，入沢美和子专门去了一趟日暮里买来布料，高桥由佳裁布，入沢美和子和中村惠子把自家的缝纫机拿来，和李新秀，柳智子，天野桂子等加班加点赶制。还要感谢北野老师为了演出，借给我们服装道具，帮助大家穿服装。

尽管当天受台风影响，下雨，露天舞台上被雨淋湿，但是挡不住大家的演出热情，因为有几百名观众打着雨伞在观看演出。特别是手舞的演出令人瞩目，当大屏幕上打出“2017 中国归国者日中友好之会”字样时，手舞班的演员们随着音乐声，有节奏地跳起由北野老师指导的日本的传统舞蹈。为了提高演出效果，北野老师专门开车取来了一面扁鼓借给乐队使用，使器乐的演奏增添不少色彩。为使大合唱达到演出效果，会里出资向大会租了合唱台，演出受到欢迎！总之，在指导老师和大家的努力下，圆满完成本次演出任务。

中国节实行委员会舞台担当专门发来贺电，对我们在恶劣的天气情况下，发挥最大的热情参加演出，表示衷心感谢！

这里说一下富山智夫夫妇经动员决定参加中国节演出，他们家离东京比较远，晚上回去都接近半夜，几乎没有车了，很辛苦！天野桂子和佐藤光子在大合唱结束时，在外边给大家打着雨伞，去帐篷里换衣服，令人感动！会场更衣场所比较窄，女生进帐篷换衣服，男生在外边冒雨待命，大家都发挥了团结互助精神，顺利完成演出任务。

お便り

NP0 法人中国帰国者・日中友好之会の各位（省略）

很高兴有机会给各位写这封信。

10 月 21 日，我参加了在代代木公园举行的「中国节」活动。在那里，有幸品尝了贵会“饺子工房”制造贩卖的水饺子，并且得到了宣传材料。这次「中国节」的活动，各位辛苦了。后来，11 月 4 日，我又参加了北区举办的“东亚文化节”，观赏了你们演出的舞剧“中国妈妈”。对于残留孤儿在战时及战后的苦难经历，我从心里表示慰问。看过“中国妈妈”后，我更加认为，日本绝对不应该再挑起战争。我打算尽自己的力量去努力。

最后愿各位注意身体，继续加油（大塚様のお手紙より抜粋）

日中国交正常化 45 周年を記念するため、中国駐日本大使館主催のチャイナフェスティバル 2017 が、10 月 21～22 日の 2 日間に渡り、東京代々木公園にて盛大に開催されました。わが NP0 も機会に恵まれて出演しました。

今回は参加団体が多いため、当初私たちは、8 演目の申請を出したが、実行委員会の審査により以下の 3 演目のみ採用されました。日本手踊り『黒石よされ節』、器楽演奏『山丹丹花開紅艷艷』、合唱『茉莉花』と『大海啊、故郷』。

出場本番まで、3 演目の練習は時間との闘いでした。特に日本舞踊（手舞）の準備は最も大変なものでした。皆さんは日曜休日を返上してたくさん汗を流しました。途中体調を崩されたり、咳が止まらなくなったりしながらも練習は辞めようとしませんでした。舞台衣装の準備において、入沢美和子さんは日暮里まで生地を買い付け、高橋由佳さんは型を切り、入沢さんと中村恵子さんはミシンまで持ち込みました。李新秀さん、柳智子さん、天野桂子さんほか全員総出で遅くまで衣裳の裁縫に取り掛かりました。演出の北野先生は演出道具などを貸してくださり、皆さんに着付けまでしていただきました。

本番当日は台風の影響で露天の舞台が風雨に濡らされてしまいました。しかし、皆さんの情熱あふれる演技は遮ることありませんでした。舞台の下で傘を持った何百もの観客がいらしていました。特に手踊りは、観客の注目となりました。「2017 中国帰国者日中友好の会」とスクリーンに大きく映し出された舞台で、音響に合わせみなが軽快に踊り始めました。本番に相応しい演技を披露することが出来ました。演出効果を高めるため、北野先生は搬入の苦労も惜しまず太鼓を貸してくださり、そのおかげで楽器の演奏がいつそう華やかに彩られました。大合唱においては、普段の実力を発揮するために、NP0 が出資して合唱台を特注して、迫力ある合唱を披露することができました。観客から大きな歓声が湧き、演出と出演者皆さん一人ひとりの協力により成功裏に収めることができました。

イベント終了後、実行委員会舞台担当者より感謝の書簡が贈られてきました。悪天候にも関わらず皆さんの素晴らしい演技と演出が高く評価してくださいました。公演に参加した富山智夫さん夫妻は住まいが都心から遠く、本番を終えると、終電に駆け込んで帰宅していました。

天野桂子さんと佐藤光子さんは、合唱終えた団員のために傘をさし出し、更衣用のテントまで案内していました。狭いテントは女性の皆さんに使用してもらい、雨にぬれていながら男性のみなさんは周りに気配りをしていました。チーム一丸となり助け合いの精神で大役を果たすことができました。（翻訳：巻口清美）

記念日中国交正常化 45 周年

中国節 2017



「チャイナフェスティバル 2017」 出店記

2017年中国节出店記

過能国弘

今年 10 月 21 日、22 日由中国大使馆主办的中国节在代々木公園内隆重举行。节日期间有 40 多家中国料理店、30 多家商铺出店。我们会以「餃子工房水餃子」的名义也参加了料理店出店活动。在决定出店之前，理事会通过慎重讨论，认真研究，充分肯定了出店的意义和可行性，之后决定成立「实行委员会」、并确定了实行委员会的人选及分工。

对于本次中国节，我们做了充分的准备。特别是餃子工房以高橋秀哉为首的各位，非常辛苦。一个月之内包了 4 次餃子，又做了 3 次餡餅。实行委员会的成员，各尽其职，筹划，购买出店用品，和有关方面交涉，联络等等繁杂琐事都一一处理妥当。

我们准备的贩卖菜单是：水餃子、煎餃子、餡餅，汤水餃子。正所谓万事具备，只欠东风。我们只是盼望着能有个晴朗天气，好大显身手。

可是，天有不测风云。10 月 21、22 日两天都一直下雨，而且 22 日还受到台风影响，雨量很大，因此前来参加节日活动的客人大为减少。致使我们当初的销售计划严重受挫。

两天就这样过去了，我们为此所付出的辛苦劳动没有得到相应的回报，这确实是令人遗憾。但是同时，也学到了很多过去根本没学到的知识，增加了我们的见识，也让我们重新认识了自己，更为可喜的看到了我们广大会员的积极性，创造性。从这一点来说，参加本次中国节的活动，我们还是有相当的收益的。

さる 10 月 21 日、22 日の二日間に「チャイナフェスティバル 2017」が代々木公園で盛大に開催された。期間中に会場には、飲食店約 40 ブース、物販・企業・団体が約 30 ブース出店した。本会も「中国帰国者・日中友好の会 餃子工房」の名義で飲食店に出店した。出店を決める前に、理事会で慎重な議論を重ね、出店の意義や実行可能性を十分に考慮して、出店を決めた。その後、実行委員会を設置し、人選や各自の役割分担を決めた。

チャイナフェスティバルに参加するために、皆さんは万全な事前準備をした。特に高橋秀哉さんを始め、「餃子工房」の皆さんは苦勞を厭わず、一か月の間に餃子を 4 回と餡餅を 3 回製造した。実行委員会の各位も、企画、購買から外部との交渉まで、各自の責任をきちんと果たせた。

当日、本会が出した料理は以下の 4 種類、水餃子、焼き餃子、スープ餃子、餡餅だった。用意はすべて整ったけれど、残った心配事は天気だけだ。天気が良ければ、思う存分に腕を振るう、と期待した。

しかし、期待と裏腹に、10 月 21 日、22 日はずっと雨だった。特に 22 日に、台風も近づいてきたので、来客が少なく、初めての出店は販売不振で終わった。

失望の中で二日間が過ぎた。残念ながら、我々の努力は報われなかった。でも、私たちはいろんなことを学べて、視野を広げた。その上、会員たちの積極性や創造力を再認識することができた。これを考えると、今回チャイナフェスティバルに参加することには収穫もあった。(翻訳：張狄)



焼き餃子



水餃子



人 間 賛 歌

松川淑子

疾风骤雨席卷乌云，深秋的落叶呜咽着扑打窗栏。我蜷缩在病榻上，被痛苦的泪水浸泡着的微弱心脏正在细动发作，痉挛着，朦胧中往黑洞的深谷丢落。

突然，好像手被牵拉得热乎乎的“快醒醒，我们看你来了。”我定下神一张张笑脸围拢在床前，“听医生的话，手术吧！保命要紧。有我们姐妹在，不要怕，坚强些。”

在大家合掌为我祈祷的气氛中，我顺从地被推进手术室。

手术在局麻中进行，听到刀剪声，随着缝针走线的啞啞……带回了多年孤苦伶仃的岁月；只有在孤灯下借助着画业，描述着悲凉愁苦。以一张张画作来填补空虚的心灵……眼前一直陪伴我「天涯孤女」的印章记载着命运写照。真乃：前无希望；后无寄托……

「手術は順調ですよ」医生的声音。手术室外投过来一双双关切的目光，拥抱着我到病床上，一口一口地喂水；接尿；洗浴，我很不好意思。“我们是你的姐妹，有什么难为情的，快点养好病的话，咱们姐妹还要好好相处呢。”

有人小声说：“会长来看你了。”我眼睛湿润，不安地说道：“您这么忙，还……”会长笑着说：“您也是会里的一员呀，每个人都要相互关爱，应该的！安心养病，快点恢复健康，大家都在等着您一起参加活动呢。”

我含泪目送会长及大家的背影，在晚霞的映照下，形成一道人际光环，在舞动着，壮大着。

即容纳百川，关爱，友善皆汇聚成雄壮的人间赞歌，永久在感恩人的心目中回想。

平成 29 年 11 月吉日

厚い雲に覆われ、激しい風を伴って、篠突く雨がどっと降り出してきた。落ち葉が泣声のような音をだして窓を叩いている。私は病床で縮こまり、涙を流し、弱り切った心臓の発作に耐え、出口の見えないトンネルに入ったように、光も希望も見えない。

絶望のなかで、手を引かれ、温もりを感じた。「目を開けて、見舞いに来たよ」と聞こえた。そして、目に入ったのは、ベッドを囲んでいるみんなの笑顔だった。

みんなから「先生の言うことを聞いて、手術を受けて」「自分の命も大事にすべき」「私たちがいるから、大丈夫よ、怖がらないで」と慰められた。

みんなから勇気をもらい、祈りの中でオペ室に運ばれた。

局部麻酔で手術を行われた。メスの音、縫合の音、忘れかけた記憶が潮水のように湧いてきた。天涯孤独の歳月、絵だけに託した思い。絵を描くことは、悲しくて寂しい生活の中で、孤灯のように一筋の光明が差し込んでくれた唯一の慰めだった。片時も離さない「天涯孤女」の印章は、私の運命を象徴しているように、希望も寄託もない。

「手術は順調だよ」と医者で眼覚めた。オペ室を出ると、みんなさんの心配そうな眼差しが見えた。囲まれながら病室に戻った、その後の日々には、皆さん食事からシャワー、そして下の世話までしてくださった。恥ずかしくて申し訳ないと言った私に「私たち姉妹だよ、恥ずかしいことなんかないよ。早く病気を治して、これから長く付き合うよ」。熱い言葉に涙があふれ、ただただ感謝としか言えない。

ある人に「会長が見舞いに来た」と、言われ、私は「忙しいのに」と不安に言ったが、会長は「あなたも私たちの一員だよ、助け合うのは当たり前だ。くよくよ考えずに病気を治すことに専念して、皆待っているよ」。

赤い夕日に照らされて帰って行く皆さんの姿が、遠くなるにつれ、なぜか大きくなってくると感じた。

海が無数の川を受け入れて、それで大きくなっていくように、皆の関心や友情が束ねられて、「人間賛歌」となって、目の前で表してくれた。その恩義は一生忘れない。（翻訳：張狄）

2017 年 6 月訪中団に参加して
左 1 松川淑子さん



歴史を銘記し、新たな頁を開く 铭记历史，面向未来

孫妮

2017年11月19日关于《日本战争遗孤口述史》项目、孤儿二、三世座谈会在本会教室举行。池田理事长出席并讲话：“如今我们这些战争孤儿都已经七十多岁了，我们所剩的时间不多了。我们要在有生之年把我们的亲身经历讲述出来，留给后代，警示世人。希望孤儿的二、三世能够承担起记录历史的责任”。

由北京大学、庆应大学在读博士生新田顺一先生牵头的这一课题，具有深远的历史意义和现实意义。七十多年前的日本侵华战争，给中国人民和日本国民带来了深重的灾难。如今那场战争的亲历受害者（战争孤儿）都已年逾古稀，有的已告别了这个世界，可是战争所造成的伤害一直如影随形。他们告别了那片熟悉的、养育了他们的土地，回到陌生的祖国。他们承受着语言不通、不被社会认可的巨大压力，他们比一般老人更孤独、更寂寞。

不忘历史，把孤儿们刻骨铭心的经历记录下来是孤儿的二世、三世义不容辞的责任，也是所有爱好和平、反对战争的人们的心愿。这是一项刻不容缓的工程。随着孤儿们年龄越来越大，留给我们的时间也越来越紧迫。为了让日本政府有一天能正视这段历史；为了让日本国民了解战争孤儿过去和现在艰难、尴尬的处境、孤儿的二世、三世对日本社会的真实感受与无奈；为了让更多的中国人知道中国的普通百姓抚养日本孤儿的无疆大爱，并把这一壮举载入史册，我们这一代责无旁贷！

与会者纷纷表示：尽最大努力把这一特殊群体的真实故事记录下来，为日中关系史补上这一笔。也希望所有热爱和平、愿意为日中友好而努力的人们积极参与、支持这项工作。

2017年11月19日に、「日本戦争孤児が口述による歴史記録」に関するシンポジウムがNPOの地下1階活動室で行われた。約20人の出席者から様々な意見や提案があがった。池田理事長からも「我々戦争孤児は一番若い者も70過ぎている、残された時間はそんなに多くない。生きているうちに、私たちの自らの経験や経歴を伝え、鑑とさせるのは、後世への警鐘でもある。そして、2、3世に真実の歴史を記録、伝承することを担ってほしい」と、挨拶があった。

このプロジェクトは、北京大学並びに慶応大学博士在学中の新田順一さんが発起人として提出したもので、歴史的にも、現実的にも深い意義がある。70年以上も前の侵略戦争は、中国人民だけではなく、日本国民にも多大な危害をもたらした。

その戦争を経験した方（残留孤児）はみんな古希を過ぎて、亡くなった方もたくさんいる。戦争でできた傷は影が形に添うように、死ぬまでなくなることがないだろう。残留孤児らは、住み慣れた土地を離れ、見知らぬ祖国に帰ってから、直面したのは、言葉の壁や社会に認められないプレッシャー。普通の日本の高齢者よりもっと孤独で寂しい生活に強いられている。その孤児達は深く心にとどめる体験を記録するのが、2、3世のやらざるをえない義務であり、そして、平和を愛し、戦争に反対するすべての人の願いでもある。時がたつにつれて、残留孤児もますます高齢になり、与えられた時間が少なくなる一方、このプロジェクトの実行は一刻の猶予も許されない。

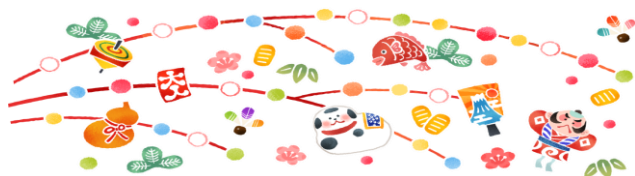
日本政府にその歴史を正視し、日本国民に戦争孤児の耐えてきた苦痛や置かれている現状を理解してもらうため、そして孤児の2、3世も日本社会のマイノリティーであることと、中国の養父母の博愛のこころをより多くの人に知ってもらい、同時にその偉大な行為を歴史に刻むことは、我々の責任である。

出席者の皆は、ベストを尽くして、このプロジェクトを完成させる、日中関係の歴史に新たな一ページを書く、と意思表示した。同時に日中友好に努めている方々の参加や支援を心より願っている。（翻訳：張狄）

認定「NPO 法人 中国帰国者・日中友好の会」活動記録 (2017 年 7 月～12 月)

07/15	中国方正県人民政府外事僑務弁公室萬力新氏ら3人に来会頂く
08/13	日暮里にて本会合唱メンバー22 人が客演
09/07	早稲田大学大隈講堂にて「国連合唱団」コンサートに出演 合唱団メンバー35 名出演
09/08	北京在住の残留孤児・渡部宏一(中国名・王林起)さんご夫妻が来会
09/25	北京大学国際関係学院博士後期課程新田順一氏(孤児三世)来会、残留孤児の口述歴史資料作成の要請を受諾
10/8.9	浅草かつぱ橋まつりに餃子工房出店。好天に恵まれ過去最高売上を記録
10/13	北区日本舞踊協会大会に、日本舞踊教室 23 人が出演
10/21.22	代々木公園にて「チャイナフェスティバル 2017」に舞踊・合唱・楽器班等出演及び餃子工房出店
10/23	哈尔滨社会科学院一行 8 名来会。友好協力協議書仮契約を交わす
11/04	北とぴあにて東アジア祭りに参加、「中国媽媽」を披露
11/09	松山バレエ団「白毛女」公演に華人合唱団メンバーとして本会から 24 名が参加
11/19	残留孤児の口述歴史資料作成に関し、二、三世が交流座談会開催。新田順一さん含め 21 名参加
12/23	赤羽会館にて本会朗読劇「孤児の涙」を客演

謹賀新春



※お知らせ※

★原告団総会★

日時:2018年2月3日(土)

10:00～12:00

場所:台東区民会館9階ホール

★2018年新年会★

日時:2018年2月3日(土)

13:00～15:30

場所:台東区民会館9階ホール

笑門来福

《家園》編集委員 (第 20 号)

白 山 明 徳	河 村 忠 志
二 田 口 国 博	張 狄
春 曉	入 澤 美 和 子
孫 妮	
レイアウト 松本莉恵	

編 集 後 記

微信传来哈尔滨江沿的写真：厚雪、树掛，看着勾起淡々の郷愁。这些天，富士山雪峰亮丽，清新。我们的教室，一直照常。70 多岁的学员和年轻人学着日语、电脑。先生精心辅导；合唱、器楽、午蹈、太极扇、都练习顺利；朗诵造型剧《孤儿泪》抓紧抢排；饺子工房，高桥秀哉带着众人辛勤加班加工。天冷，承载的是冬日的盛情，迎来 2018 年充满希望的新年。